

2026年度 教科シラバス

高校3年

目次

古典探究（S特選 文系）	2
古典探究（I類 文系）	3
古典探究（II類 文系）	4
現代文（S特選 文系）	5
現代文（I類 文系）	6
現代文（II類 文系）	7
国語演習（S特選 理系）	8
国語演習（I類 理系）	9
国語演習（II類 理系）	10
地理探究（S特選 文系理系）	11
世界史探究（S特選 文系）	12
世界史探究（I類 文系）	13
世界史探究（II類 文系）	14
日本史探究（S特選 文系）	15
日本史探究（I類 文系）	16
日本史探究（II類 文系）	17
世界史演習（S特選 文系）	18
世界史演習（I類II類 文系）	19
日本史演習（S特選 文系）	20
日本史演習（I類II類 文系）	21
公民演習（S特選 文系理系）	22
数学III（S特選 I類II類 理系）	23
数学C（S特選 I類II類 理系）	24
物理（S特選 I類II類 理系）	25
化学（S特選 I類II類 理系）	26
生物（S特選 I類II類 理系）	27
体育	28
英語コミュニケーションIII（S特選 文系理系）	29
英語コミュニケーションIII（I類 文系理系）	30
英語コミュニケーションIII（II類 文系理系）	31
論理・表現III（S特選 文系理系）	32
論理・表現III（I類 文系理系）	33
論地・表現III（II類 文系理系）	34
論理・表現III（S特選・I類 文系理系 NET）	35
英語演習（I類 文系）	36
英語演習（II類 文系）	37

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	古典探究	S特選 (文系)	3	「高等学校古典探究」(数研出版)「体系古典文法」「体系古典文法ワーク」「まぎらわしい語の識別マスターノート」(数研出版)「重要古文単語315」「即戦ゼミ入試頻出新国語問題総演習」(桐原書店)「基本セミナー漢文入門」「例文による漢文の習得」(浜島書店)「新訂国語総覧」(京都書房)「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 古典」(進研学参)「過程の演習 新国語問題集 第57集 古典編」(啓隆社)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1、古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方や感じ方、考え方の幅を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2、問題集を使用した豊富な問題演習により、大学入学共通テストも含め、様々な出題形式に対応しうる真の力をつける。</p> <p>3、国公立大学受験を見据えた記述指導や演習を積極的に行い、確かな実践力を培う。</p> <p>4、定期的に小テストを行うことにより、基礎事項の定着をはかる。</p>	<p>1、文法の学習においては、予習として文法書の該当部分を熟読しておくこと。適宜問題演習を行い、知識の定着をはかること。</p> <p>2、古文読解の学習においては、予習として本文をノートに書き写し、読み・単語の意味・品詞を確認しておくこと。</p> <p>3、漢文読解の学習においては、予習として本文をノートに書き写し、読み・単語の意味・句法を確認しておくこと。</p> <p>4、古文単語テスト・古文常識テスト・古文文法テストを通して、大学入試に頻出の項目を着実に定着させていくこと。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【古文】『蜻蛉日記』</p> <p>【漢文】思想</p> <p>【演習】入試問題演習 共通テスト対策</p>	<p>【古文】評論</p> <p>【漢文】史伝・詩</p> <p>【演習】入試問題演習 共通テスト対策</p>	<p>【古文】ポイント学習・入試過去問演習</p> <p>【漢文】ポイント学習・入試過去問(漢詩を含む)演習・共通テスト対策</p>	<p>【古文】ポイント学習・入試過去問演習</p> <p>【漢文】ポイント学習・入試過去問(漢詩を含む)演習・共通テスト対策</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立二次対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けられている。</p> <p>②日本の伝統的な言語文化に対する理解を深められている。</p>	<p>授業内小テスト(単語・文法・漢文句形・漢文語彙など)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。</p> <p>②古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p>	<p>授業内小テスト(単語・文法・漢文句形・漢文語彙など)</p> <p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	古典探究	I類 (文系)	3	「高等学校古典探究」(数研出版)「体系古典文法」「体系古典文法ワーク」「まぎらわしい語の識別マスターノート」(数研出版)「重要古文単語315」「即戦ゼミ 入試頻出新国語問題総演習」(桐原書店)「基本セミナー漢文入門」「例文による漢文の習得」(浜島書店)「新訂国語総覧」(京都書房)「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習古典」(進研学参)「過程の演習 新国語問題集アシスト第24集 古文編」(啓隆社)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1、古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方や感じ方、考え方の幅を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2、問題集を使用した豊富な問題演習により、大学入学共通テストも含め、様々な出題形式に対応しうる真の力をつける。</p> <p>3、国公立大学受験を見据えた記述指導や演習を積極的に行い、確かな実践力を培う。</p> <p>4、定期的に小テストを行うことにより、基礎事項の定着をはかる。</p>	<p>1、文法の学習においては、予習として文法書の該当部分を熟読しておくこと。適宜問題演習を行い、知識の定着をはかること。</p> <p>2、古文読解の学習においては、予習として本文をノートに書き写し、読み・単語の意味・品詞を確認しておくこと。</p> <p>3、漢文読解の学習においては、予習として本文をノートに書き写し、読み・単語の意味・句法を確認しておくこと。</p> <p>4、古文単語テスト・古文常識テスト・古文文法テストを通して、大学入試に頻出の項目を着実に定着させていくこと。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【古文】『蜻蛉日記』</p> <p>【漢文】思想</p> <p>【演習】入試問題演習 共通テスト対策</p>	<p>【古文】評論</p> <p>【漢文】史伝・詩</p> <p>【演習】入試問題演習 共通テスト対策</p>	<p>【古文】ポイント学習・入試過去問演習</p> <p>【漢文】ポイント学習・入試過去問(漢詩を含む)演習・共通テスト対策</p>	<p>【古文】ポイント学習・入試過去問演習</p> <p>【漢文】ポイント学習・入試過去問(漢詩を含む)演習・共通テスト対策</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立二次対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けられている。</p> <p>②日本の伝統的な言語文化に対する理解を深められている。</p>	<p>授業内小テスト(単語・文法・漢文句形・漢文語彙など)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。</p> <p>②古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p>	<p>授業内小テスト(単語・文法・漢文句形・漢文語彙など)</p> <p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	古典探究	Ⅱ類 (文系)	3	「高等学校古典探究」(数研出版)「体系古典文法」「体系古典文法ワーク」「まぎらわしい語の識別マスターノート」(数研出版)「重要古文単語315」「即戦ゼミ 入試頻出新国語問題総演習」(桐原書店)「基本セミナー漢文入門」「例文による漢文の習得」(浜島書店)「新訂国語総覧」(京都書房)「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 古典」(進研学参)「プログレス〈読解・構図・鑑賞〉古文総演習(完成編)」(いっぴろ書店)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1、古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方や感じ方、考え方の幅を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2、問題集を使用した豊富な問題演習により、大学入学共通テストも含め、様々な出題形式に対応しうる真の力をつける。</p> <p>3、国公立大学受験を見据えた記述指導や演習を積極的に行い、確かな実践力を培う。</p> <p>4、定期的に小テストを行うことにより、基礎事項の定着をはかる。</p>	<p>1、文法の学習においては、予習として文法書の該当部分を熟読しておくこと。適宜問題演習を行い、知識の定着をはかること。</p> <p>2、古文読解の学習においては、予習として本文をノートに書き写し、読み・単語の意味・品詞を確認しておくこと。</p> <p>3、漢文読解の学習においては、予習として本文をノートに書き写し、読み・単語の意味・句法を確認しておくこと。</p> <p>4、古文単語テスト・古文常識テスト・古文文法テストを通して、大学入試に頻出の項目を着実に定着させていくこと。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【古文】『蜻蛉日記』</p> <p>【漢文】思想</p> <p>【演習】入試問題演習 共通テスト対策</p>	<p>【古文】評論</p> <p>【漢文】史伝・詩</p> <p>【演習】入試問題演習 共通テスト対策</p>	<p>【古文】ポイント学習・入試過去問演習</p> <p>【漢文】ポイント学習・入試過去問(漢詩を含む)演習・共通テスト対策</p>	<p>【古文】ポイント学習・入試過去問演習</p> <p>【漢文】ポイント学習・入試過去問(漢詩を含む)演習・共通テスト対策</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立二次対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けられている。</p> <p>②日本の伝統的な言語文化に対する理解を深められている。</p>	<p>授業内小テスト(単語・文法・漢文句形・漢文語彙など)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。</p> <p>②古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p>	<p>授業内小テスト(単語・文法・漢文句形・漢文語彙など)</p> <p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	現代文	S特選 (文系)	4	精選論理国語(数研出版) 文字国語(数研出版) 「書いてマスター常用漢字」(文英堂) 「読解を深める現代文単語」(桐原書店) 「新訂国語総覧」(京都書房) 「上級現代文I」(桐原書店) 「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」(桐原書店) 「過程の演習 新国語問題集アシスト第23集 現代文編」(啓隆社) 「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 現代文」(進研学参)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1、目前に迫った大学入試を視野に入れつつ、多様な分野の文章に触れることで、豊かな知性を育むと共に、自分の置かれた環境はもとより、異なった世界の状況に思いをはせるきっかけとする。</p> <p>2、問題集や模試・入試の過去問題を使用して演習形式の授業を展開し、大学入学共通テストに対応しうる確かな読解力と実践力を身につける。</p> <p>3、定期的に、漢字テスト・語彙テストを行うことで、基礎事項の定着をはかる。</p> <p>4、国公立大学受験を見据えた記述や演習を通して、確かな基礎力と実践力を培う。</p>	<p>1、教科書を中心に据え、資料集等で応用部分を発展させて学ぶ。適宜、問題集や発展教材を使って、作品読解を補完する。</p> <p>2、新しい単元の語句の意味調べ、要約は予習として各自必ずやっておくこと。</p> <p>3、毎週の漢字や語彙の小テストは、入試の知識問題対策として地道に勉強すること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【評論】「メディアのテロル」…情報</p> <p>【小説】「檸檬」(梶井基次郎)</p> <p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>【評論】「『文化が違う』とは何を意味するのか?」…文化</p> <p>【小説】「舞姫」(森鷗外)</p> <p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>②新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深められている。</p> <p>③生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。</p>	<p>小テスト・朝テスト(漢字・語彙など)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>②他者(作品含む)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p> <p>③深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p>	<p>小テスト・朝テスト(漢字・語彙など)</p> <p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようという意識がみられる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	現代文	I類 (文系)	4	精選論理国語(数研出版) 文学国語(数研出版) 「書いてマスター常用漢字」(文英堂)「読解を深める現代文単語」(桐原書店) 「新訂国語総覧」(京都書房)「上級現代文I」(桐原書店) 「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」(桐原書店) 「過程の演習 新国語問題集アシスト第23集 現代文編」(啓隆社) 「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 現代文」(進研学参)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1、目前に迫った大学入試を視野に入れつつ、多様な分野の文章に触れることで、豊かな知性を育むと共に、自分の置かれた環境はもとより、異なった世界の状況に思いをはせるきっかけとする。</p> <p>2、問題集や模試・入試の過去問題を使用して演習形式の授業を展開し、大学入学共通テストに対応しうる確かな読解力と実践力を身につける。</p> <p>3、定期的に、漢字テスト・語彙テストを行うことで、基礎事項の定着をはかる。</p> <p>4、国公立大学受験を見据えた記述や演習を通して、確かな基礎力と実践力を培う。</p>	<p>1、教科書を中心に据え、資料集等で応用部分を発展させて学ぶ。適宜、問題集や発展教材を使って、作品読解を補完する。</p> <p>2、新しい単元の語句の意味調べ、要約は予習として各自必ずやっておくこと。</p> <p>3、毎週の漢字や語彙の小テストは、入試の知識問題対策として地道に勉強すること。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【評論】「メディアのテロル」…情報</p> <p>【小説】「檸檬」(梶井基次郎)</p> <p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>【評論】「『文化が違う』とは何を意味するのか?」…文化</p> <p>【小説】「舞姫」(森鷗外)</p> <p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>【演習】入試問題演習・共通テスト対策</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>②新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深められている。</p> <p>③生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。</p>	<p>小テスト・朝テスト(漢字・語彙など)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>②他者(作品含む)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p>	<p>小テスト・朝テスト(漢字・語彙など)</p> <p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようという意識がみられる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	現代文	Ⅱ類 (文系)	4	精選論理国語(数研出版) 文学国語(数研出版) 「書いてマスター常用漢字」(文英堂) 「読解を深める現代文単語」(桐原書店) 「新訂国語総覧」(京書房) 「上級現代文1」(桐原書店) 「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」(桐原書店) 「過程の演習 新国語問題集アシスト第23集 現代文編」(啓隆社) 「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 現代文」(進研学参)

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

- 1、目前に迫った大学入試を視野に入れつつ、多様な分野の文章に触れることで、豊かな知性を育むと共に、自分の置かれた環境はもとより、異なった世界の状況に思いをはせるきっかけとする。
- 2、問題集や模試・入試の過去問題を使用して演習形式の授業を展開し、大学入学共通テストに対応しうる確かな読解力と実践力を身につける。
- 3、定期的に、漢字テスト・語彙テストを行うことで、基礎事項の定着をはかる。
- 4、国公立大学受験を見据えた記述や演習を通して、確かな基礎力と実践力を培う。

1、教科書を中心に据え、資料集等で応用部分を発展させて学ぶ。適宜、問題集や発展教材を使って、作品読解を補完する。

- 2、新しい単元の語句の意味調べ、要約は予習として各自必ずやっておくこと。
- 3、毎週の漢字や語彙の小テストは、入試の知識問題対策として地道に勉強すること。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	【評論】「メディアのテロル」…情報 【小説】「檸檬」(梶井基次郎) 【演習】入試問題演習・共通テスト対策	【評論】「『文化が違う』とは何を意味するのか?」…文化 【小説】「舞姫」(森鷗外) 【演習】入試問題演習・共通テスト対策	【演習】入試問題演習・共通テスト対策	【演習】入試問題演習・共通テスト対策	Aターム(共通テスト対策) Bターム(私大対策) Cターム(国公立対策)

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 ②新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深められている。 ③生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。	小テスト・朝テスト(漢字・語彙など) 定期考査
思考力 判断力 表現力	①論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。 ②他者(作品含む)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ③深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。	小テスト・朝テスト(漢字・語彙など) 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 ②生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようという意識がみられる。 ③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	課題 グループワークまたは個人ワーク

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	国語演習	S特選 (理系)	2	「精選論理国語」「文学国語」「高等学校古典探究」(数研出版)「書いてマスター常用漢字」(文英堂)「読解を深める現代文単語」(桐原書店)「体系古典文法」「体系古典文法ワーク」 「まぎらわしい語の識別マスターノート」(数研出版)「重要古文単語315」(桐原書店)「基本セミナー漢文入門」「例文による漢文の習得」(浜島書店)「新訂国語総覧」(京都書房)「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 現代文」「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 古典」(進研学参)「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」(桐原書店)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1. 高校3年間の国語学習の総まとめとして現・古・漢の3分野を幅広く学び、習熟することで豊かな知識や教養を身に付けると共に、自身を取り巻く社会や世界の現状へと目を向けさせる。</p> <p>2. 問題集や模試の過去問題を使用して演習形式の授業を展開し、大学入学共通テストに対応しうる実践力をつけると共に、高い応用力と確固たる基礎力を身に付ける。</p> <p>3. 随時小テストを行うことで基礎事項の定着を図る。</p>	<p>1. 現代文分野は教科書を中心に学習し、資料集等や大学入試問題で応用部分を発展させて学ぶ。新単元は予習として各自必ず一読し、語句の意味調べをした上で授業に臨むこと。</p> <p>2. 古典分野は問題集や模試の過去問題を中心に学習し、現状の理解度や定着度を把握した上で文法や句法の確認を行う。文法書や漢文入門を活用して復習に努めること。</p> <p>3. 小テストは主に「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」より出題する。大学入学共通テストの知識問題対策として地道に勉強すること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【現代文】</p> <p>評論「メディアのテロル」</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>小説「檸檬」</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>②新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深められている。</p> <p>③生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>④日本の伝統的な言語文化に対する理解を深められている。</p>	授業内小テスト 定期考査
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>②他者(作品含む)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p> <p>③深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>④深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。</p> <p>⑤古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p>	授業内小テスト 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようという意識がみられる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	課題 グループワークまたは個人ワーク

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	国語演習	I類 (理系)	2	「精選論理国語」「文学国語」「高等学校古典探究」(数研出版)「書いてマスター常用漢字」(文英堂)「読解を深める現代文単語」(桐原書店)「体系古典文法」「体系古典文法ワーク」 「まぎらわしい語の識別マスターノート」(数研出版)「重要古文単語315」(桐原書店)「基本セミナー漢文入門」「例文による漢文の習得」(浜島書店)「新訂国語総覧」(京都書房)「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 現代文」「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 古典」(進研学参)「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」(桐原書店)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1. 高校3年間の国語学習の総まとめとして現・古・漢の3分野を幅広く学び、習熟することで豊かな知識や教養を身に付けると共に、自身を取り巻く社会や世界の現状へと目を向けさせる。</p> <p>2. 問題集や模試の過去問題を使用して演習形式の授業を展開し、大学入学共通テストに対応しうる実践力をつけると共に、高い応用力と確固たる基礎力を身に付ける。</p> <p>3. 随時小テストを行うことで基礎事項の定着を図る。</p>	<p>1. 現代文分野は教科書を中心に学習し、資料集等や大学入試問題で応用部分を発展させて学ぶ。新単元は予習として各自必ず一読し、語句の意味調べをした上で授業に臨むこと。</p> <p>2. 古典分野は問題集や模試の過去問題を中心に学習し、現状の理解度や定着度を把握した上で文法や句法の確認を行う。文法書や漢文入門を活用して復習に努めること。</p> <p>3. 小テストは主に「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」より出題する。大学入学共通テストの知識問題対策として地道に勉強すること。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【現代文】</p> <p>評論「メディアのテロル」</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>小説「檸檬」</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>②新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深められている。</p> <p>③生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>④日本の伝統的な言語文化に対する理解を深められている。</p>	授業内小テスト 定期考査
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>②他者(作品含む)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできている。</p> <p>③深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>④深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。</p> <p>⑤古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできている。</p>	定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようという意識がみられる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	課題 グループワークまたは個人ワーク

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	国語	国語演習	I類 (理系)	2	「精選論理国語」「文学国語」「高等学校古典探究」(数研出版)「書いてマスター常用漢字」(文英堂)「読解を深める現代文単語」(桐原書店)「体系古典文法」「体系古典文法ワーク」 「まぎらわしい語の識別マスターノート」(数研出版)「重要古文単語315」(桐原書店)「基本セミナー漢文入門」「例文による漢文の習得」(浜島書店)「新訂国語総覧」(京都書房)「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 現代文」「2027年 共通テスト対策実力養成重要問題演習 古典」(進研学参)「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」(桐原書店)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>1. 高校3年間の国語学習の総まとめとして現・古・漢の3分野を幅広く学び、習熟することで豊かな知識や教養を身に付けると共に、自身を取り巻く社会や世界の現状へと目を向けさせる。</p> <p>2. 問題集や模試の過去問題を使用して演習形式の授業を展開し、大学入学共通テストに対応しうる実践力をつけると共に、高い応用力と確固たる基礎力を身に付ける。</p> <p>3. 随時小テストを行うことで基礎事項の定着を図る。</p>	<p>1. 現代文分野は教科書を中心に学習し、資料集等や大学入試問題で応用部分を発展させて学ぶ。新単元は予習として各自必ず一読し、語句の意味調べをした上で授業に臨むこと。</p> <p>2. 古典分野は問題集や模試の過去問題を中心に学習し、現状の理解度や定着度を把握した上で文法や句法の確認を行う。文法書や漢文入門を活用して復習に努めること。</p> <p>3. 小テストは主に「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」より出題する。大学入学共通テストの知識問題対策として地道に勉強すること。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【現代文】</p> <p>評論「メディアのテロル」</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>小説「檸檬」</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>【現代文】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p> <p>【古典】</p> <p>問題演習 (共通テスト対策)</p>	<p>Aターム(共通テスト対策)</p> <p>Bターム(私大対策)</p> <p>Cターム(国公立対策)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>②新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深められている。</p> <p>③生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>④日本の伝統的な言語文化に対する理解を深められている。</p>	授業内小テスト 定期考査
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>②他者(作品含む)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p> <p>③深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。</p> <p>④深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。</p> <p>⑤古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。</p>	授業内小テスト 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>②生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようという意識がみられる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	課題 グループワークまたは個人ワーク

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	地理探究	S特選 (文系) (理系)	3	『新詳地理探究』(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院) 新詳地理資料COMPLETE 2025(帝国書院)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>1. 予習…範囲の教科書を熟読する。 2. 授業中の取り組み…①板書をノートに書き写す。②教師の説明をノートに書き記しておく。③プリントは授業に沿って適宜書き込みを行う。 3. 家庭学習…①プリントと板書を読み直し、教科書・地図帳で学習した範囲を確認する。②わからない所、納得できない所があれば、積極的に質問しにくること。 4. 注意点…地理は内容が多いため、全範囲の学習は高3までかかります。高2から学習を着実に積み重ねることが重要です。 『地図帳はぜったいに授業に持ってくること!』地形や気候の分布を何度も目にしなければ地理の学習が定着しません!</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進捗	【世界地誌】 東アジア、東南アジア、南アジア	【世界地誌】 西アジア・中央アジア、ヨーロッパ	【世界地誌】 アフリカ、アングロアメリカ、オセアニア、日本	過去問演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	定期考査 小テスト
思考力 判断力 表現力	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	定期考査 レポートやワークシートなどの提出物 グループワークや個人ワークへの取り組み状況やその内容 その他
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。	ノートなどの提出物 レポートやワークシートへの取り組み状況やその内容 グループワークや個人ワークへの取り組み状況やその内容

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	世界史探究	S特選 (文系)	4	教科書：詳説世界史 副教材：世界史探究マスター問題集 タペストリー 共通テスト実戦問題集

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>概要：現代の社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化の中で形成されてきたのか、またそれがどのような現代的な諸課題と関わっているのか、課題意識を持って考察する。</p> <p>目標：(1)近現代の歴史に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>予習：教科書の精読</p> <p>授業：①【小テスト】予習内容から出題する。 ②【目標の提示】各項目ごとに理解すべき目標を提示する。 ③【講義】各項目ごとに目標を意識しながら授業を受ける。板書のみならず丁寧にメモをとり、理解の深化に努める。 ④【小テスト】本時の授業内容の習得度をはかる問いを行う。</p> <p>復習：①【日常学習】授業内容の簡単な復習 ②【問題集】授業進度、提出期限に合わせて各自で学習を進める。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成（後半） 第14章 アジア諸地域の動揺	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 夏期登校講座 ①地域史・各国史	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	入試問題演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業を通し、現代世界の地域的特色の背景としての歴史の展開を理解することができる。 ②自主的な復習や小テストを通して、知識を習得・定着できる。	定期考査 中テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 提出物 その他
主体的に学習に取り組む態度	①歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	提出物、中テスト その他

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	世界史探究	I類 (文系)	4	教科書：詳説世界史 副教材：世界史探究マスター問題集 タペストリー 共通テスト実戦問題集

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

概要：現代の社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化の中で形成されてきたのか、またそれがどのような現代的な諸課題と関わっているのか、課題意識を持って考察する。

目標：(1)近現代の歴史に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

予習：教科書の精読

授業：①【小テスト】予習内容から出題する。
②【目標の提示】各項目ごとに理解すべき目標を提示する。
③【講義】各項目ごとに目標を意識しながら授業を受ける。板書のみならず丁寧にメモをとり、理解の深化に努める。
④【小テスト】本時の授業内容の習得度をはかる問いを行う。

復習：①【日常学習】授業内容の簡単な復習
②【問題集】授業進度、提出期限に合わせて各自で学習を進める。

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
I年間の授業の進度	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成（後半） 第14章 アジア諸地域の動揺	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 夏期登校講座 ①地域史・各国史	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	入試問題演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業を通し、現代世界の地域的特色の背景としての歴史の展開を理解することができる。 ②自主的な復習や小テストを通して、知識を習得・定着できる。	定期考査 中テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 提出物 その他
主体的に学習に取り組む態度	①歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	提出物、中テスト その他

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	世界史探究	Ⅱ類（文系）	4	教科書：詳説世界史 副教材：タペストリー、世界史スタンダードテスト、共通テスト実戦問題集

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

概要：現代の社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化の中で形成されてきたのか、またそれがどのような現代的な諸課題と関わっているのか、課題意識を持って考察する。

目標：(1)近現代の歴史に関わる諸事情について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

予習：教科書の精読

授業：①【小テスト】予習内容から出題する。
②【目標の提示】各項目ごとに理解すべき目標を提示する。
③【講義】各項目ごとに目標を意識しながら授業を受ける。板書のみならず丁寧にメモをとり、理解の深化に努める。
④【小テスト】本時の授業内容の習得度をはかる問いを行う。

復習：①【日常学習】授業内容の簡単な復習
②【問題集】授業進度、提出期限に合わせて各自で学習を進める。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成（後半） 第14章 アジア諸地域の動揺	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 夏期登校講座 ①地域史・各国史	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	入試問題演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業を通し、現代世界の地域的特色の背景としての歴史の展開を理解することができる。 ②自主的な復習や小テストを通して、知識を習得・定着できる。	定期考査 中テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 提出物 その他
主体的に学習に取り組む態度	①歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	提出物、中テスト その他

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	日本史探究	S特選 (文系)	4	【教科書】山川出版『詳説日本史（日探705）』 【副教材】山川出版『詳説日本史図録 第10版（日探705準拠）』 Z会出版『実力をつける日本史100題 [改訂第3版]』 駿台文庫『2026-大学入学共通テスト実戦問題集 歴史総合、日本史探究』 山川出版社『日本史探究 流れがわかる 日本史ノート』

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

<p>【教科の概要】必履修科目である「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する科目である。</p> <p>【目標】(1)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(2)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>【予習】</p> <p>①教科書の通読 ②授業冊子の空欄補充</p> <p>【授業】</p> <p>①授業ポイントの整理 ②演習問題・論述問題 ③単元ごとの小テスト：1学期は月一の確認テスト、2学期は随時演習</p> <p>【復習】</p> <p>①定期考査・模試に向けた復習、副教材で学習理解を進める</p>
--	--

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	【近代史】 大正期まとめ～昭和戦前使	【近現代史】 昭和戦後史～現代史	【問題演習】	【問題演習】	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業における取り組みの成果を、復習テストや定期考査で発揮できる。 ②常に受験を意識し、入試問題へ果敢にアプローチしていく力をつける。	定期考査 予習確認テスト 復習テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 論述演習 その他アクティブラーニング式授業への取り組み
主体的に 学習に 取り組む 態度	①授業内での取り組みに対して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身につけている。 ②課題解決に向けた主体的な姿勢だけでなく、他者との積極的な協働学習に対し意欲的に取り組み、協調的な関係を築くことができる。	定期考査ごとの振り返り

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	日本史探究	I類(文系)	4	【教科書】山川出版『詳説日本史(日探705)』 【副教材】山川出版『詳説日本史図録 第10版(日探705準拠)』 Z会出版『実力をつける日本史100題 [改訂第3版]』 駿台文庫『2026-大学入学共通テスト実戦問題集 歴史総合, 日本史探究』 山川出版社『日本史探究 流れがわかる 日本史ノート』

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

<p>【教科の概要】必履修科目である「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する科目である。</p> <p>【目標】(1)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(2)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>【予習】</p> <p>①教科書の通読 ②授業冊子の空欄補充</p> <p>【授業】</p> <p>①授業ポイントの整理 ②演習問題・論述問題 ③単元ごとの小テスト：1学期は月一の確認テスト、2学期は随時演習</p> <p>【復習】</p> <p>①定期考査・模試に向けた復習、副教材で定着理解を進める</p>
--	--

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	【近代史】 大正期まとめ～昭和戦前使	【近現代史】 昭和戦後史～現代史	【問題演習】	【問題演習】	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業における取り組みの成果を、復習テストや定期考査で発揮できる。 ②常に受験を意識し、入試問題へ果敢にアプローチしていく力をつける。	定期考査 予習確認テスト 復習テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 論述演習 その他アクティブラーニング式授業への取り組み
主体的に学習に取り組む態度	①授業内での取り組みに対して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身につけている。 ②課題解決に向けた主体的な姿勢だけでなく、他者との積極的な協働学習に対し意欲的に取り組み、協調的な関係を築くことができる。	定期考査ごとの振り返り

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	日本史探究	Ⅱ類（文系）	4	【教科書】山川出版『詳説日本史（日探705）』 【副教材】山川出版『詳説日本史図録 第10版（日探705準拠）』 Z会出版『実力をつける日本史100題 [改訂第3版]』 駿台文庫『2026-大学入学共通テスト実戦問題集 歴史総合、日本史探究』 山川出版社『日本史探究 流れがわかる 日本史ノート』

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【教科の概要】必履修科目である「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する科目である。</p> <p>【目標】(1)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(2)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>【予習】</p> <p>①教科書の通読 ②授業冊子の空欄補充</p> <p>【授業】</p> <p>①授業ポイントの整理 ②演習問題・論述問題 ③単元ごとの小テスト：1学期は定期的な確認テスト、2学期は随時演習</p> <p>【復習】</p> <p>①定期考査・模試に向けた復習、副教材で学習理解を進める</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	【近代史】 明治後期～大正前期	【近代史】 大正後期～昭和戦前	【近現代史】 戦後史～現代史	【問題演習】	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業における取り組みの成果を、復習テストや定期考査で発揮できる。 ②常に受験を意識し、入試問題へ果敢にアプローチしていく力をつける。	定期考査 復習テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 論述演習 その他アクティブラーニング式授業への取り組み
主体的に学習に取り組む態度	①授業内での取り組みに対して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身につけている。 ②課題解決に向けた主体的な姿勢だけでなく、他者との積極的な協働学習に対し意欲的に取り組み、協調的な関係を築くことができる。	定期考査ごとの振り返り

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	世界史演習	S特選 (文系)	2	教科書：詳説世界史 副教材：タペストリー、世界史探究マスター問題集 共通テスト実戦問題集

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
1. 入試問題演習を取り入れて、実践的な学習による知識の定着を図る。 2. 大学共通テスト試験に対応し、進路実現を図るための学力育成を目指す。 3. 模試過去問演習を通し、弱点ノートを作成することで、得点力向上を実現する。	1. 問題演習 2. 自己採点・振り返り 3. 解説・講義

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	第18章 冷戦と第三世界の台頭	第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の日本	共通テスト・国公立二次・私大の過去問演習	共通テスト・国公立二次・私大の過去問演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業を通し、現代世界の地域的特色の背景としての歴史の展開を理解することができる。 ②自主的な復習や小テストを通して、知識を習得・定着できる。	定期考査 中テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 問題演習振り返り その他
主体的に学習に取り組む態度	①歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	提出物、中テスト その他

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	世界史演習	I類 (文系) II類 (文系)	2	教科書：詳説世界史探究 副教材：タペストリー 2026大学入学共通テスト実戦問題集

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
1. 入試問題演習を取り入れて、実践的な学習による知識の定着を図る。 2. 大学共通テスト試験に対応し、進路実現を図るための学力育成を目指す。 3. 模試過去問演習を通し、弱点ノートを作成することで、得点力向上を実現する。	1. 問題演習 2. 自己採点・振り返り 3. 解説・講義

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	第18章 冷戦と第三世界の台頭	第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の日本	共通テスト・国公立二次・私大の過去問演習	共通テスト・国公立二次・私大の過去問演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①授業を通し、現代世界の地域的特色の背景としての歴史の展開を理解することができる。 ②自主的な復習や小テストを通して、知識を習得・定着できる。	定期考査 中テスト
思考力 判断力 表現力	①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期考査 問題演習 その他
主体的に学習に取り組む態度	①歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けている。	提出物、中テスト その他

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	日本史演習	S特選 (文系)	2	【教科書】山川出版『詳説日本史(日探705)』 【副教材】山川出版『詳説日本史図録 第10版(日探705準拠)』 Z会出版『実力をつける日本史100題 [改訂第3版]』 駿台文庫『2026-大学入学共通テスト実戦問題集 歴史総合, 日本史探究』 山川出版社『日本史探究 流れがわかる 日本史ノート』

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 入試問題演習を取り入れて、実践的な学習による知識の定着を図ります。 2. 入試問題を解いて、それについて解説していく授業スタイルです。 3. 共通テスト・私大個別試験に対応し、進路実現を図るための学力育成を目指します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中の取り組み 授業での入試問題の範囲に対応できるように事前に該当範囲を復習しておく。 2. 家庭学習 授業で取り扱った入試問題の範囲や関連事項を復習しておく。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	～古代・中世～ 共通テスト対策 私大対策	～近世～ 共通テスト対策 私大対策	～近代～ 共通テスト対策 私大対策	～全範囲～ 共通テスト対策 私大対策	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ol style="list-style-type: none"> ①これまでの通史授業において習得した知識を発揮できる。 ②授業における取り組みの成果を、復習テストや定期考査で発揮できる。 	定期考査
思考力 判断力 表現力	<ol style="list-style-type: none"> ①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 	定期考査 問題演習振り返り その他
主体的に学習に取り組む態度	<ol style="list-style-type: none"> ①授業内での取り組みに対して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身につけている。 ②課題解決に向けた主体的な姿勢だけでなく、他者との積極的な協働学習に対し意欲的に取り組み、協調的な関係を築くことができる。 	提出物 その他

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	地理歴史	日本史演習	I類(文系) II類(文系)	2	【教科書】山川出版『詳説日本史(日探705)』 【副教材】山川出版『詳説日本史図録 第10版(日探705準拠)』 Z会出版『実力をつける日本史100題 [改訂第3版]』 駿台文庫『2026-大学入学共通テスト実戦問題集 歴史総合, 日本史探究』 山川出版社『日本史探究 流れがわかる 日本史ノート』

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 入試問題演習を取り入れて、実践的な学習による知識の定着を図ります。 2. 入試問題を解いて、それについて解説していく授業スタイルです。 3. 共通テスト・私大個別試験に対応し、進路実現を図るための学力育成を目指します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中の取り組み 授業での入試問題の範囲に対応できるように事前に該当範囲を復習しておく。 2. 家庭学習 授業で取り扱った入試問題の範囲や関連事項を復習しておく。

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
I年間の授業の進度	～古代・中世～ 共通テスト対策 私大対策	～近世～ 共通テスト対策 私大対策	～近代～ 共通テスト対策 私大対策	～全範囲～ 共通テスト対策 私大対策	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ol style="list-style-type: none"> ①これまでの通史授業において習得した知識を発揮できる。 ②授業における取り組みの成果を、復習テストや定期考査で発揮できる。 	定期考査
思考力 判断力 表現力	<ol style="list-style-type: none"> ①歴史的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的多角的に考察することができる。 ②自分の考察や構想を論理的・効果的に説明・論述し、他者の主張を踏まえたり取り入れたりしながら議論することができる。 ③調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 	定期考査 問題演習振り返り その他
主体的に学習に取り組む態度	<ol style="list-style-type: none"> ①授業内での取り組みに対して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身につけている。 ②課題解決に向けた主体的な姿勢だけでなく、他者との積極的な協働学習に対し意欲的に取り組み、協調的な関係を築くことができる。 	提出物 その他

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	公民	公民演習	S特選 (文系) (理系)	3	【教科書】高等学校 政治・経済 現代をみる力 あしたを拓く力(清水書院) 【副教材】Winning COM.-PASS 公共・政経の整理と演習(2026年度用)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】 共通テスト『公共、政治・経済』対策の授業です。高1「公共」で学んだことを下敷き に、共通テストで高得点を取るための講義および演習を通じて、政治や経済に関する広い 教養を身につけてもらえるような授業を目指します。</p> <p>【目標】 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向け て構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的 に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育 成することを目指します。</p>	<p>詳細は各学期の初回ガイダンスで説明します。</p> <p>【予習】 原則不要ですが、確認テストと問題演習の授業時は予習を課すことがあります。</p> <p>【授業】 相当なスピードで進め、夏の登校講座で集中講義を行っても、全範囲の完成は秋口、最 後の模試あたりまでかかります。授業中にその場で理解したり覚えたりすることが一番の 時短ですので、常に手と頭を動かし続けることを意識してください。</p> <p>【復習】 授業が終わったその日に、授業で扱った範囲を一度仕上げてください(理解+記憶)。演 習は放課後講座でも行いますので、積極的に参加してください。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の 授業の 進度	現代日本の政治	現代日本の政治 ≪夏季登校講座≫集中講義：現 代の国際政治・現代の国際経済	現代日本の経済	現代日本の経済 問題演習(国際分野も含む) ≪冬季登校講座≫問題演習：全 範囲	授業はありません

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論 などについて理解しているとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調 べまとめている。	定期考査の得点 確認テストの得点 など
思考力 判断力 表現力	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理 論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基 準を根拠に構想したり、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判 断して、合意形成や社会参画に向かおうとしたりしている。	定期考査の得点 授業テキストの取り組み状況と活用状況 など
主体的に 学習に 取り組む 態度	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しよ うとしている。	論述や小論文執筆への取り組み状況とその内容 問題集の取り組み状況と活用状況 授業内実力テストの得点(2学期) など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	数学	数学Ⅲ	S特選（理系） I類（理系） II類（理系）	5	数学ⅢC（数研出版）、青チャートⅠA、ⅡBC、ⅢC 配布プリント，入試過去問題

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

積分法の残りを学習した後は1学期から国公立2次・私立理系入試問題演習及び共通テスト対策問題演習を行う。目標は以下の通り。

- ① 積分法を学習し，関数をさらに深く理解する。
- ② 国公立2次・私立理系入試問題に取り組み，7～8割程度の正答率が得られる実力を身に付ける。
- ③ 共通テスト対策問題に取り組み，7～9割程度の正答率が得られる実力を身に付ける。

授業用のノートと，家庭学習（問題集）ノートの2種類を用意する。考査や模試の解き直しも家庭学習ノートにやる。

- ① 「予習→授業→復習」の学習習慣を確立する（数学は特に復習を重視する）。
- ② 1～2週に1回程度，復習確認テストを行う。テストは必ず解き直しを行う。
- ③ 模試は終了後，必ず解き直しを行う。
- ④ 家庭学習ノートには答えだけでなく，導き出す過程（途中式や文章）も書く。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	数学Ⅲ 積分法の応用 数学ⅠAⅡBⅢCの入試問題演習	数学ⅠAⅡBⅢCの入試問題演習	数学ⅠAⅡBⅢCの入試問題演習	数学ⅠAⅡBⅢCの入試問題演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	積分法等における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。	・定期考査（計算など基本問題） ・復習確認テスト（計算など基本問題）
思考力 判断力 表現力	数学的活動を通して，積分法等における数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	・定期考査（計算など基本問題） ・復習確認テスト（計算など基本問題）
主体的に学習に取り組む態度	授業の復習を必ず行い，課題・考査・模試の解き直しを綿密に行うだけでなく，身に付けた数学的な見方や考え方を積極的かつ発展的に活用することができる。	・提出物など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	数学	数学C	S特選（理系） I類（理系） II類（理系）	2	配布プリント、入試過去問題

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>I学期からIAIIBC、国公立2次・私立理系入試問題演習及び共通テスト対策問題演習を行う。目標は以下の通り。</p> <p>① 国公立2次・私立理系入試問題に取り組み、7～8割程度の正答率が得られる実力を身に付ける。</p> <p>② 共通テスト対策問題に取り組み、7～9割程度の正答率が得られる実力を身に付ける。</p>	<p>授業用のノートと、家庭学習（問題集）ノートの2種類を用意する。考査や模試の解き直しも家庭学習ノートにやる。</p> <p>① 「予習→授業→復習」の学習習慣を確立する（数学は特に復習を重視する）。</p> <p>② 1～2週に1回程度、復習確認テストを行う。テストは必ず解き直しを行う。</p> <p>③ 模試は終了後、必ず解き直しを行う。</p> <p>④ 家庭学習ノートには答えだけでなく、導き出す過程（途中式や文章）も書く。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
I年間の授業の進捗	数学C 式と曲線 数学C 複素数平面 数学IAIIBCの入試問題演習	数学IAIIBCの入試問題演習	数学IAIIBCの入試問題演習	数学IAIIBCの入試問題演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査（計算など基本問題） 復習確認テスト（計算など基本問題）
思考力 判断力 表現力	数学的活動を通して、積分法等における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査（計算など基本問題） 復習確認テスト（計算など基本問題）
主体的に学習に取り組む態度	授業の復習を必ず行い、課題・考査・模試の解き直しを綿密に行うだけでなく、身に付けた数学的な見方や考え方を積極的かつ発展的に活用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 提出物など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	理科	物理	S特選（理系） I類（理系） II類（理系）	5	物理（実教出版） セミナー物理（第一学習社）

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

【概要】物理学は自然現象をよく観察して、さまざまな現象に存在する法則性を発見することから始まります。そのような法則は、自然がどのように成り立っていることによるのかを研究して、最終的には自然の本質にせまろうとする学問です。また、さまざまな自然現象に共通する原理や法則を発見するために、実験を通して、その測定データを分析することにより、原理や法則を見出していきます。

物理では、物理基礎を踏まえたうえで、力学から始まり、物理学の自然理解の方法を学びつつ、熱、波動、電気、原子について学びます。

【目標】 難関国公立大学&難関私立大学二次入試問題に対応できる基礎力を身につける。

①基礎的な内容を理解する上で演習を多く取り入れ、知識の定着をはかります。また、単元によっては、実験なども取り入れ、科学的な理解を深めていきます。

②講義を中心に学習を進めていき、自然現象の法則性、さらには、自然の実態を理解していきます。さらに、練習問題、入試問題を解くことでその理解の定着をはかります。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	第3章 電気と磁気 第1節 電荷と電場 第2節 電流	第3章 電気と磁気 第3節 磁場と電流 第4節 電磁誘導と電磁波	第3章 電気と磁気 第4節 電磁誘導と電磁波 第4編 原子 第1節 電子と光 第2節 原子と原子核	第4編 原子 第2節 原子と原子核 入試問題演習 私大の過去問と共通テストの類題演習	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	観察、実験や課題研究などを通して物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けていること。	◇定期考査の素点の一部 ◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価
思考力判断力表現力	物理的な事物・現象の中に問題を見出し、観察実験などを行うとともに、事象を実証的論理的に考えたり、分析的統一的に考察したりして、事実に基づいて判断できること。	◇定期考査の素点の一部 ◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価
主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けていること。	◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	理科	化学	S特選（理系） I類（理系） II類（理系）	5	高等学校 化学基礎、化学（数研出版） セミナー化学基礎+化学（第一学習社）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】 化学基礎および化学を系統的に学習していきます。化学は、物質を①構造②性質③反応性の3観点から理解することで、自然界の原理・法則を見出す学問です。それは、地球環境保護と現代社会発展への貢献につながります。理系選択者としての将来を見据えながら、学習をすすめていきましょう。</p> <p>【目標】 ① 実験や観察を通して、科学に関する知識や理解を深め、科学的な思考や理解力を養う。 ② 将来の生活場面において、科学的な知識や理論が活用できるようにする。 ③ 大学入学共通テストや大学入学試験に耐えうる学力を定着させる。</p>	<p>1) 基礎的な内容から発展的なものまで、化学の持つ法則性、物質の持つ共通性・特殊性を学習します。 問題演習・実験を通して単元内容を考察しながら、実験技能の向上を図ります。また、大学入試において題材にされやすい実験も取り入れ、科学的な理解を深めるだけでなく、将来の入試に対応できる力も養成します。</p> <p>2) 定期考査によって理解度を確認、さらなる定着を図ります。さらに、模擬試験を活用して既習内容を継続的に振り返り、基礎学力を維持することで、より発展的な学習につなげます。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<無機化学> ・1族元素,2族元素 ・遷移元素・両性元素 ・陽イオンの沈殿を利用した定性分析 <有機化学> ・官能基、構造式・示性式、元素分析 ・芳香族炭化水素 ・アルコール・アルデヒド・ケトン	<有機化学> ・カルボン酸 ・エステル [芳香族] ・ベンゼン・フェノール ・芳香族化合物等、芳香族化合物の分離	高分子化合物 ・天然高分子（糖、アミノ酸） ・DNA, RNA ・合成高分子（付加重合、縮重合）	・大学入学共通テスト対策演習および大学入試問題 ・各分野化学実験	Aターム(大学入学共通テスト対策) Bターム(私立大学対策) Cターム(国公立大学対策)

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	観察、実験などを通して科学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているかどうか。	◇定期考査の素点の一部 ◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価
思考力判断力表現力	科学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断することができるか。また、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができるかどうか。	◇定期考査の素点の一部 ◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価
主体的に学習に取り組む態度	科学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けているかどうか。	◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	理科	生物	S特選(理系) I類(理系) II類(理系)	5	高等学校 生物(第一学習社) 生物図説・セミナー生物(第一学習社)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】 生物の体を構成する細胞やタンパク質、その他の生体物質の機能や構造を学び、それらの機能であるセントラルドグマの過程、そしてこれらが強調して働く発生や遺伝、さらにはよりマクロな視点として生態学や進化の歴史を学びます。</p> <p>【目標】 3年生においては、よりマクロな視点として生物の進化と分類、生物の行動学、および生態学について学びます。これらに対して包括的な知識体系を形成するとともに、大学入学共通テストを解答するに足る思考力を身につけることを目的とします。</p>	<p>① 基礎的な内容から発展的なものまで、科学の持つ法則性、物質の持つ共通性・特殊性を学習します。</p> <p>② 問題演習・実験を通して単元内容を考察しながら、実験技能の向上を図ります。また、大学入試において題材にされやすい実験も取り入れ、科学的な理解を深めるだけでなく、将来の入試に対応できる力も養成します。</p> <p>③ 学習内容、時期によっては、授業動画(オンデマンド教材)も活用します。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
I年間の授業の進度	I. 生態と環境 ①生物群集と生態系 ②生態系の物質生産 ③生態系と生物多様性	II. 生物の進化 ①進化の仕組み ②生物の起源と生物の変遷 III. 生物の系統と分類 ①生物の分類の変遷と系統 ②生物の系統関係	大学入試を目標とした問題演習に取り組みます。	大学入試を目標とした問題演習に取り組みます。	授業はありません。

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	◇自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ◇観察、実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	◇定期考査の素点の一部 ◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価
思考力判断力表現力	◇自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決する。	◇定期考査の素点の一部 ◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価
主体的に学習に取り組む態度	◇自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとする。	◇小テスト・確認テストの点数 ◇実験・観察後の提出課題の評価

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	保健体育	体育	共通	3	

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 運動技能・体力の向上、健康の増進、安全に対する知識・判断力を習得する。</p> <p>2. 学校内はもちろん、学校以外の生活の場面でも、健康で明るい生活を送ることができるような身体作りをする。</p> <p>3. 中学で修得した個人技能に加え、連携プレーなどで協力の精神を養う。また、スポーツ全般の基礎となる陸上競技を取り入れ、全身の持久力、瞬発力を高め筋力の増強に努める。</p> <p>4. 体育祭を通し、集団の中で果たすべき責任を全うする能力を身に付ける。</p>	<p>・体育については、所定の場所（体育館・グラウンド・地下体育館）で実施する。</p> <p>※各種事情により取り扱う運動領域を変更する場合あり。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	集団行動 体育祭練習	体育祭練習 球技Ⅰ 体カテスト	体カテスト 球技Ⅱ	球技Ⅱ	

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。 	各学期末に所定の場所（体育館・グラウンド・地下体育館）で行う実技テストで到達度を確認する他、授業への取り組み、出席状況、見学状況、課題提出状況などの資料を基に総合的に判断する
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。 	各学期末に所定の場所（体育館・グラウンド・地下体育館）で行う実技テストで到達度を確認する他、授業への取り組み、出席状況、見学状況、課題提出状況などの資料を基に総合的に判断する
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。 	授業（単元）の目標到達における自己評価・他者評価の他、授業への取り組み、出席状況、見学状況、課題提出状況などの資料を基に総合的に判断する

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	英語コミュニケーションⅢ	S特選 (文系) (理系)	4	SKYWARD COSMOS course Clues to Reading 共通テストReading対策2冊 Listening対策1冊

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>グローバル社会で求められる英語力を見据えつつ、キャリアデザインを実現する力を身につける。主に難関国公立2次試験の対策を行っていく。今まで培ってきたReading・Listeningスキルを定着・発展させていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緻密な解釈に基づいた精読を行い読解力の強固な基盤を構築する。 難関大学レベルの長文問題の演習を通して、速読力、問題解答力、大意把握力を身に付ける。 	<p>[予習] テキストの本文を読み、解答し（辞書を使わずに解くことが望ましい）、その後わからなかった単語熟語などを調べておく。</p> <p>[授業] 緻密な文法解釈に基づいた精読を行い答案作成力を習得する。</p> <p>[復習] 音読練習を積み重ねることで正確な読み方を自動化し、速読力へとつなげる。</p> <p>文脈の追い方、大意の掴み方、設問への解法を学ぶ。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	教育・人生 言語・コミュニケーション 時事・社会 科学・生物	科学・生物 文化・国際理解 歴史・文明 フィクション・エッセイ 過去問演習	文化・国際理解 フィクション・エッセイ 言語・コミュニケーション 教育・人生 過去問演習	教育・人生 科学・生物 時事・社会 歴史・文明 過去問演習	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	専門性が高く複雑な文章に関して論理展開・概要および詳細を理解するために必要な語彙・文法・文構造を習得し、文脈を踏まえた自然な和訳ができ、語彙・文法上整合性の取れた記述力が身につけているかを問う。また併せて共テなどリスニング問題の演習力を見る。	定期考査の成績による
思考力 判断力 表現力	目標にしている大学入試問題など初見の文章において、授業で習った知識や技能を応用して、根拠を明確にして適切に判断しながら解答する力を測る。	定期考査の成績による
主体的に学習に取り組む態度	入試問題の演習力伸長を中心に「聞く」「読む」「話す」「書く」などコミュニケーション全般における技能そのものを磨く姿勢を持ち、総合的な英語力を高めるために強い意志を持って学習に取り組み、進路実現に向けて日常の学習習慣を築くことができているかを見る。	小テスト、提出物、平常点など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	英語コミュニケーションⅢ	I類 (文系) (理系)	4	SKYWARD SKY course Clues to Reading 共通テストReading対策2冊 Listening対策1冊

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>グローバル社会で求められる英語力を見据えつつ、キャリアデザインを実現する力を身につける。主に難関私大・国公立2次の対策を行っていく。今まで培ってきたリーディング・スキルを、定着・発展させていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緻密な解釈に基づいた精読を行い読解力の強固な基盤を構築する。 ・難関大学レベルの長文問題の演習を通して、速読力、問題解答力、大意把握力を身に付ける。 	<p>[予習] テキストの本文を読み、解答し（辞書を使わずに解くことが望ましい）、その後わからなかった単語熟語などを調べておく。</p> <p>[授業] 緻密な文法解釈に基づいた精読を行い答案作成力を習得する。</p> <p>[復習] 音読練習を積み重ねることで正確な読み方を自動化し、速読力へとつなげる。</p> <p>文脈の追い方、大意の掴み方、設問への解法を学ぶ。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	教育・人生 言語・コミュニケーション 時事・社会 科学・生物	科学・生物 文化・国際理解 歴史・文明 フィクション・エッセイ 過去問演習	文化・国際理解 フィクション・エッセイ 言語・コミュニケーション 教育・人生 過去問演習	教育・人生 科学・生物 時事・社会 歴史・文明 過去問演習	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	専門性が高く複雑な文章に関して論理展開・概要および詳細を理解するために必要な語彙・文法・文構造を習得し、文脈を踏まえた自然な和訳ができ、語彙・文法上整合性の取れた記述力が身につけているかを問う。また併せて共テなどリスニング問題の演習力を見る。	定期考査の成績による
思考力 判断力 表現力	目標にしている大学入試問題など初見の文章において、授業で習った知識や技能を応用して、根拠を明確にして適切に判断しながら解答する力を測る。	定期考査の成績による
主体的に学習に取り組む態度	入試問題の演習力伸長を中心に「聞く」「読む」「話す」「書く」などコミュニケーション全般における技能そのものを磨く姿勢を持ち、総合的な英語力を高めるために強い意志を持って学習に取り組み、進路実現に向けて日常の学習習慣を築くことができているかを見る。	小テスト、提出物、平常点など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	英語コミュニケーションⅢ	Ⅱ類 (文系) (理系)	4	SKYWARD SKY course 共通テスト対策2冊

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>グローバル社会で求められる英語力を見据えつつ、キャリアデザインを実現する力を身につける。主に難関私立大学の対策を行っていく。</p> <p>今まで培ってきたリーディング・スキルを、定着・発展させていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緻密な解釈に基づいた精読を行い読解力の強固な基盤を構築する。 難関大学レベルの長文問題の演習を通して、速読力、問題解答力、大意把握力を身に付ける。 	<p>[予習] テキストの本文を読み、解答し（辞書を使わずに解くことが望ましい）、その後わからなかった単語熟語などを調べておく。</p> <p>[授業] 緻密な文法解釈に基づいた精読を行い答案作成力を習得する。</p> <p>[復習] 音読練習を積み重ねることで正確な読み方を自動化し、速読力へとつなげる。</p> <p>文脈の追い方、大意の掴み方、設問への解法を学ぶ。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	教育・人生 言語・コミュニケーション 時事・社会 科学・生物	科学・生物 文化・国際理解 歴史・文明 フィクション・エッセイ 過去問演習	文化・国際理解 フィクション・エッセイ 言語・コミュニケーション 教育・人生 過去問演習	教育・人生 科学・生物 時事・社会 歴史・文明 過去問演習	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	専門性が高く複雑な文章に関して論理展開・概要および詳細を理解するために必要な語彙・文法・文構造を習得し、文脈を踏まえた自然な和訳ができ、語彙・文法上整合性の取れた記述力が身につけているかを問う。また併せて共テなどリスニング問題の演習力を見る。	定期考査の成績による
思考力 判断力 表現力	目標にしている大学入試問題など初見の文章において、授業で習った知識や技能を応用して、根拠を明確にして適切に判断しながら解答する力を測る。	定期考査の成績による
主体的に学習に取り組む態度	入試問題の演習力伸長を中心に「聞く」「読む」「話す」「書く」などコミュニケーション全般における技能そのものを磨く姿勢を持ち、総合的な英語力を高めるために強い意志を持って学習に取り組み、進路実現に向けて日常の学習習慣を築くことができているかを見る。	小テスト、提出物、平常点など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	論理・表現Ⅲ	S特選 (文系) (理系)	JET:2コマ NET:1コマ	英作文Write to the Point be Smart Ⅲ The Reflex

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>グローバル社会で求められる英語力を見据えつつ、キャリアデザインを実現する演習力を養成する。</p> <p>JETクラス…主に難関国公立で出題される英作文と文法問題演習対策。和文英訳や自由英作文を中心に汎用性の高い表現を指導し、併せて英文法の総復習を行い、高度な文法問題に対応できる演習力を高めていく。</p> <p>NETクラス…ネイティブ教師によるCLILの要素を取り入れたAll English授業。「理解(Reading, Listening)→分析・評価(Discussion)→創造(Presentation, Essay Writing)」のサイクルで、主に大学入試問題の中から教科横断的なトピックや時事的な題材を取り上げて4技能指導と受験指導の融合を図る。</p>	<p>JETクラス『英作文Write to the Point』Exercise Bを中心に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習時に自分の力で解き、授業で汎用性の高い模範解答を理解し、復習時に再び自力で解き習熟させる。都度weblibio studyを用いてAI自動添削を行う。 『共通テスト10分リズニングプレート』『The Reflex』 ・聴き取るポイントや文法問題の解き方を意識して演習を行う。 <p>NETクラス…コンテンツベースの授業。環境の持続可能性、社会における倫理、技術の変化など学際的な問題を取り上げ、他生徒と対話を通して詳細な分析を行うことで、他教科で学んだ知識をさらに深めて英語のライティングスキルを向上させ、より内容の充実した構成の整ったエッセイを書くように指導する。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	Write to the Point 1.～4. The Reflex…標準編 導入 & 自己紹介エッセイ 場所についてのエッセイ 「もし私が校長だったら」 環境問題ディスカッション	Write to the Point 5.～8. The Reflex…完成編 「環境のためにできること」 学校図書館のマンガ - 論点の展開 - エッセイライティング	Write to the Point 9.～13. 過去問演習 オンラインコミュニケーション - SNSと社会 動物園の動物 - 倫理的ディスカッション	Write to the Point 14.～18. 過去問演習 因果関係エッセイ 「日本の都市部への移住」 過去を振り返る - 物語的ライティング	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英文法と英作文を中心に評価する。英文法においては昨年度までに習得した知識・理解・運用力を定着・発展させているかを問い、英作文においては、まずは基本的な文構造と表現を適切に組み合わせることができるところから始まり、まとまった文章を書くためのディスコースマーカーや論理展開の習得ができているかを問う。	定期考査及びアクティビティ等
思考力判断力表現力	習得した知識・技能を、初見の問題でどれくらい正確に発揮できるかを問う。文法に関しては4択問題・正誤問題・整序問題を、英作文は基本的な和文英訳と自由英作文に対応できているかを評価する。	定期考査及びアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	以下のCLIL形式の授業形式に則って、積極的に「英語」で情報を得て、話し合い、表現する姿勢を見る。加えて多角的に深く分析・評価できていればさらに評価する。 ・収集(Gather)…テーマを調査・分析し、主論点を特定する。 ・整理(Process)…アイデアを整理し、構成を整え、明確さと一貫性を持たせる。 ・発信(Output)…エッセイを書く。	授業内小テスト・課題・ディスカッション貢献度、またアクティビティ・プレゼンテーション・エッセイ・レポートなど

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	論理・表現Ⅲ	I類 (文系) (理系)	JET:2コマ NET:1コマ	英作文Write to the Point be Smart Ⅲ The Reflex

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>グローバル社会で求められる英語力を見据えつつ、キャリアデザインを実現する演習力を養成する。</p> <p>JETクラス…主に難関国公立で出題される英作文と文法問題演習対策。和文英訳や自由英作文を中心に汎用性の高い表現を指導し、併せて英文法の総復習を行い、高度な文法問題に対応できる演習力を高めていく。</p> <p>NETクラス…ネイティブ教師によるCLILの要素を取り入れたAll English授業。「理解(Reading, Listening)→分析・評価(Discussion)→創造(Presentation, Essay Writing)」のサイクルで、主に大学入試問題の中から教科横断的なトピックや時事的な題材を取り上げて4技能指導と受験指導の融合を図る。</p>	<p>JETクラス『英作文Write to the Point』『The Reflex』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習時に自分の力で解き、授業で汎用性の高い模範解答を理解し、復習時に再び自力で解き習熟させる。都度weblibio studyを用いてAI自動添削を行う。 ・文法問題の解き方を意識して演習を行う。 <p>NETクラス…コンテンツベースの授業。環境の持続可能性、社会における倫理、技術の変化など学際的な問題を取り上げ、他生徒と対話を通して詳細な分析を行うことで、他教科で学んだ知識をさらに深めて英語のライティングスキルを向上させ、より内容の充実した構成の整ったエッセイを書くように指導する。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	Write to the Point 1.～4. The Reflex…標準編 導入 & 自己紹介エッセイ 場所についてのエッセイ 「もし私が校長だったら」 環境問題ディスカッション	Write to the Point 5.～8. The Reflex…完成編 「環境のためにできること」 学校図書館のマンガ - 論点の展開 - エッセイライティング	Write to the Point 9.～13. 過去問演習 オンラインコミュニケーション - SNSと社会 動物園の動物 - 倫理的ディスカッション	Write to the Point 14.～18. 過去問演習 因果関係エッセイ 「日本の都市部への移住」 過去を振り返る - 物語的ライティング	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英文法と英作文を中心に評価する。英文法においては昨年度までに習得した知識・理解・運用力を定着・発展させているかを問い、英作文においては、まずは基本的な文構造と表現を適切に組み合わせることができるところから始まり、まとまった文章を書くためのディスコースマーカーや論理展開の習得ができているかを問う。	定期考査及びアクティビティ等
思考力判断力表現力	習得した知識・技能を、初見の問題でどれくらい正確に発揮できるかを問う。文法に関しては4択問題・正誤問題・整序問題を、英作文は基本的な和文英訳と自由英作文に対応できているかを評価する。	定期考査及びアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	以下のCLIL形式の授業形式に則って、積極的に「英語」で情報を得て、話し合い、表現する姿勢を見る。加えて多角的に深く分析・評価できていればさらに評価する。 ・収集(Gather)…テーマを調査・分析し、主論点を特定する。 ・整理(Process)…アイデアを整理し、構成を整え、明確さと一貫性を持たせる。 ・発信(Output)…エッセイを書く。	授業内小テスト・課題・ディスカッション貢献度、またアクティビティ・プレゼンテーション・エッセイ・レポートなど

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	論理・表現Ⅲ	Ⅱ類 (文系) (理系)	3	英作文Write to the Point be Smart Ⅲ The Reflex

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>文法理解を深めながら、それを正確に運用する力を養い、また様々な英語表現を習得することで、最終的にはエッセイ・ライティングができるように訓練していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文法の知識・理解を確認しながら、その正確な運用力を養う。 ・日本語と英語の発想の違いを言語構造や文化の違いから理解し、多様な表現力を養う。 ・継続的にリスニングの練習も重ね、対話や講義の内容などを聴き取る力を身につける。 	<p>『英作文Write to the Point』『The Reflex』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習時に自分の力で解き、授業で汎用性の高い模範解答を理解し、復習時に再び自力で解き習熟させる。都度weblilo studyを用いてAI自動添削を行う。 ・文法問題の解き方を意識して演習を行う。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	Aviator…L. 1	Aviator…L. 2	Aviator…L. 3	Aviator…L. 4	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	高度で専門的な話題に対応する語彙・文法などの知識を習得しているかを問う。またこれらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかを評価する。	定期考査及びアクティビティ等
思考力 判断力 表現力	目標にしている大学入試問題など初見の問題において、授業で習った知識や技能を応用して、根拠を明確にして適切に判断しながら解答する力を測る。	定期考査及びアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	総合的な英語力を高めるために、強い意志を持って学習に取り組み、日常の学習習慣を築くことができている。	授業内小テスト・課題・ディスカッション貢献度、またアクティビティ・プレゼンテーション・エッセイ・レポートなど

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	論理・表現Ⅲ	S特選・I類 (文系) (理系)	1	Selected university entrance exam writing prompts and model answers Peer review sheets for structured feedback

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
This course prepares students for English writing tasks commonly encountered in university entrance exams. Using a CLIL-inspired approach, students will engage in a structured Gather, Process, Output cycle, ensuring they develop analytical, organizational, and expressive writing skills while deepening their understanding of real-world topics. Through content-based learning, students will explore global and social issues such as environmental sustainability, ethics in society, and technological change. Through detailed analysis, this will allow them to build subject knowledge while improving their English writing skills, making their essays more informed on societal issues and well-structured. By incorporating their knowledge from other subjects they can improve their ability to write more convincing and well-researched essays.	Through these steps we try to help students achieve their goals. <ul style="list-style-type: none"> • Gather - Researching and analyzing real-world topics, identifying key arguments. • Process - Organizing ideas, structuring essays, and improving clarity and coherence. • Output - Writing drafts, revising based on feedback, and strengthening self-editing skills. Rather than separate grammar drills, key grammar points will be addressed within the context of essay writing, allowing students to refine their language naturally as they develop their ideas.

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	1.Introduction & Self-Introduction Essay 2.Essay Handback & Writing About Places 3.Writing About Places Essay 4.If I Were the Principal 5.If I Were the Principal	6.The Environment Discussion 7.What Can We Do for the Environment Essay 8.Manga in School Argument Development 9.Manga in School Essay 10.Review & Mid-Term Test Preparation	1.Online Communication - Social Media & Society 2.Online Communication 3.Animals in Zoos - Ethical Discussion 4.Animals in Zoos Essay 5.Cause & Effect Writing	6.Cause & Effect Essay (Topic: Rural to Urban Migration in Japan) 7.Handback & Reflecting on the Past - Narrative Writing 8.10 Years Ago Essay (80-word reflection) 9.Final Review for Exams 10.Final Exam Preparation	

観点別評価	Evaluation Criteria	Evaluation Methods
Knowledge and Skills	Consistent engagement and meaningful contributions in class. Ability to use the techniques and skills developed in class. Understanding of vocabulary and grammar.	Observe participation and contributions in class Assign tasks that require analytical thinking and integration of personal insights. Use mock interviews to evaluate communication effectiveness
Critical Thinking, Judgement & Expression	Analytical responses and integration of personal insights. Clear, coherent responses and appropriate language. Demonstrates interview etiquette. Clear structure with effective introduction, body, and conclusion.	Incorporate peer and self-assessment components to encourage reflection on performance throughout course. Allow students to record presentations for self-review. Facilitate peer review sessions for students to provide feedback on each other's work.
Attitude Towards Active Learning	Demonstrates growth and actively incorporates feedback. Regular and active engagement with peers. Meets deadlines and utilizes class time effectively. Reflects on progress and sets personal language learning goals.	Keep records of students' regular and active engagement in class activities. Monitor students' ability to meet assignment deadlines. Assign tasks that require students to set language learning goals and reflect on their progress.

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	英語演習	I類 (文系)	2	Make Progress in English Reading その他大学入試演習

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>難関私大・難関国公立2次の対策を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難関私大と難関国公立2次で必要なスキルと解法を主に演習する ・すべての問題傾向を分析し、解法を設定して演習していく ・学習したスキルを用い、解答力と記述力を完成させていく 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定された箇所を設定時間内に解く（辞書を使わずに解くことが望ましい） 2. 解いた後、単語や熟語などの不明な点を徹底的に調べておく 3. 授業で示された解法をもとに、自分の予習と比較し、違いをメモする 4. 自分が間違えた・合っていた根拠をよく踏まえたうえで、次の予習へと取り掛かる

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	Unit 1～4 過去問演習	Unit 5～10 過去問演習	Unit 11～15 過去問演習	Unit 16～20 過去問演習	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	様々な内容に関する英文を読み、聴き、解答するための背景知識を有している。	定期考査
思考力 判断力 表現力	英文を読んで理解する力、聴いて理解する力を共に有している。 各問題形式に対し、解答として適切に表現する力及び書く力（英作文）を有している。	定期考査
主体的に 学習に 取り組む 態度	英語の総合力を身につける事に対して意欲的に取り組んでいる。	提出物（課題など）および平常点（授業へ取り組む姿勢）

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
高校3年	英語	英語演習	Ⅱ類 (文系)	3	Improve Your English in Reading その他大学入試演習

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>私大・国公立2次の対策を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私大と国公立2次で必要なスキルと解法を主に演習する ・すべての問題傾向を分析し、解法を設定して演習していく ・学習したスキルを用い、解答力と記述力を完成させていく 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定された箇所を設定時間内に解く（辞書を使わずに解くことが望ましい） 2. 解いた後、単語や熟語などの不明な点を徹底的に調べておく 3. 授業で示された解法をもとに、自分の予習と比較し、違いをメモする 4. 自分が間違えた・合っていた根拠をよく踏まえたうえで、次の予習へと取り掛かる

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	Unit 1～4 過去問演習	Unit 5～10 過去問演習	Unit 11～15 過去問演習	Unit 16～20 過去問演習	Aターム 共通テスト対策 Bターム 私大対策 Cターム 国公立大対策

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	様々な内容に関する英文を読み、聴き、解答するための背景知識を有している。	定期考査
思考力 判断力 表現力	英文を読んで理解する力、聴いて理解する力を共に有している。 各問題形式に対し、解答として適切に表現する力及び書く力（英作文）を有している。	定期考査
主体的に 学習に 取り組む 態度	英語の総合力を身につける事に対して意欲的に取り組んでいる。	提出物（課題など）および平常点（授業へ取り組む姿勢）